

消費者法分野におけるルール形成の在り方等検討WG ご説明資料

2021年6月23日

ヤフー株式会社

- ① 利用者情報の取扱いについて（主に同意の取得方法、取得情報及び収集方法、取得情報の利用目的、第三者提供、規約を改定した際の利用者への通知、透明性の確保）
- ② ターゲティング広告及びオプトアウトについて（主にターゲティング広告の運用及びユーザへの理解促進の取組、オプトアウトの機会の提示方法）
- ③ 当社における広告審査及び不適切な広告の排除への取組状況

1. Yahoo! JAPANの紹介
2. お客様のデータに関する大前提と体制
3. 利用者情報の取扱いについて
4. 広告審査・不適切な広告排除の取組み

Yahoo! JAPANの紹介

多様なサービス、膨大な利用者数、マルチビッグデータを保有する
国内最大級インターネット企業

ユーザーアクションを一気通貫でおさえるサービス群

メディア事業		コマース	
--------	--	------	--

国内最大の利用者基盤

「Yahoo! JAPAN」 のリーチ	日本のインターネットサービス利用者数ランキング (トータルデジタル) *1	第 1 位
------------------------	--	--------------

質の高いマルチビッグデータ

多様性	100+の 多様なサービス	量	月間ログイン ユーザーID数 5,000 万+	鮮度	「Yahoo!検索」 など利用頻度の 高いサービス
-----	------------------	---	--------------------------------------	----	---------------------------------

*1 PCとスマートフォンの重複を除いた「トータルデジタル」でのリーチ(利用者数)
出典：ニールセンデジタル(株) ニールセンデジタル コンテンツ視聴率(2020年4月)

2018年1月24日

「データの会社を目指す」



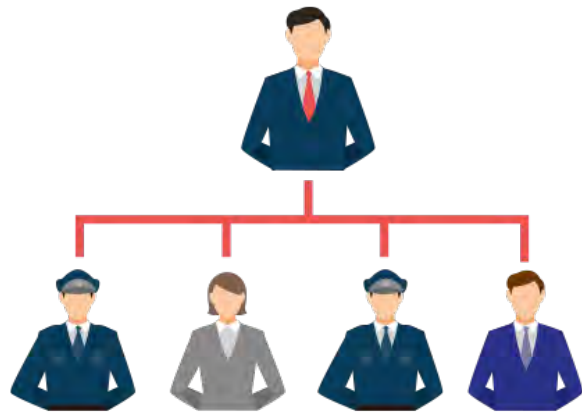
お客様のデータに関する大前提と体制



お客様のプライバシー保護が第一です

お客様がYahoo! JAPANのサービスをご利用いただくことで生まれたデータは、お客様のものであると私たちは考えています。お客様のプライバシーを尊重することはもちろんのこと、さらにそのプライバシーを守ることも、私たちの使命です。お客様のプライバシーに対する私たちの考え方について、より詳細な情報を[プライバシーセンター](#)で公開しています。また、[情報セキュリティ](#)の向上にも日々取り組んでいます。

CDO・DD体制



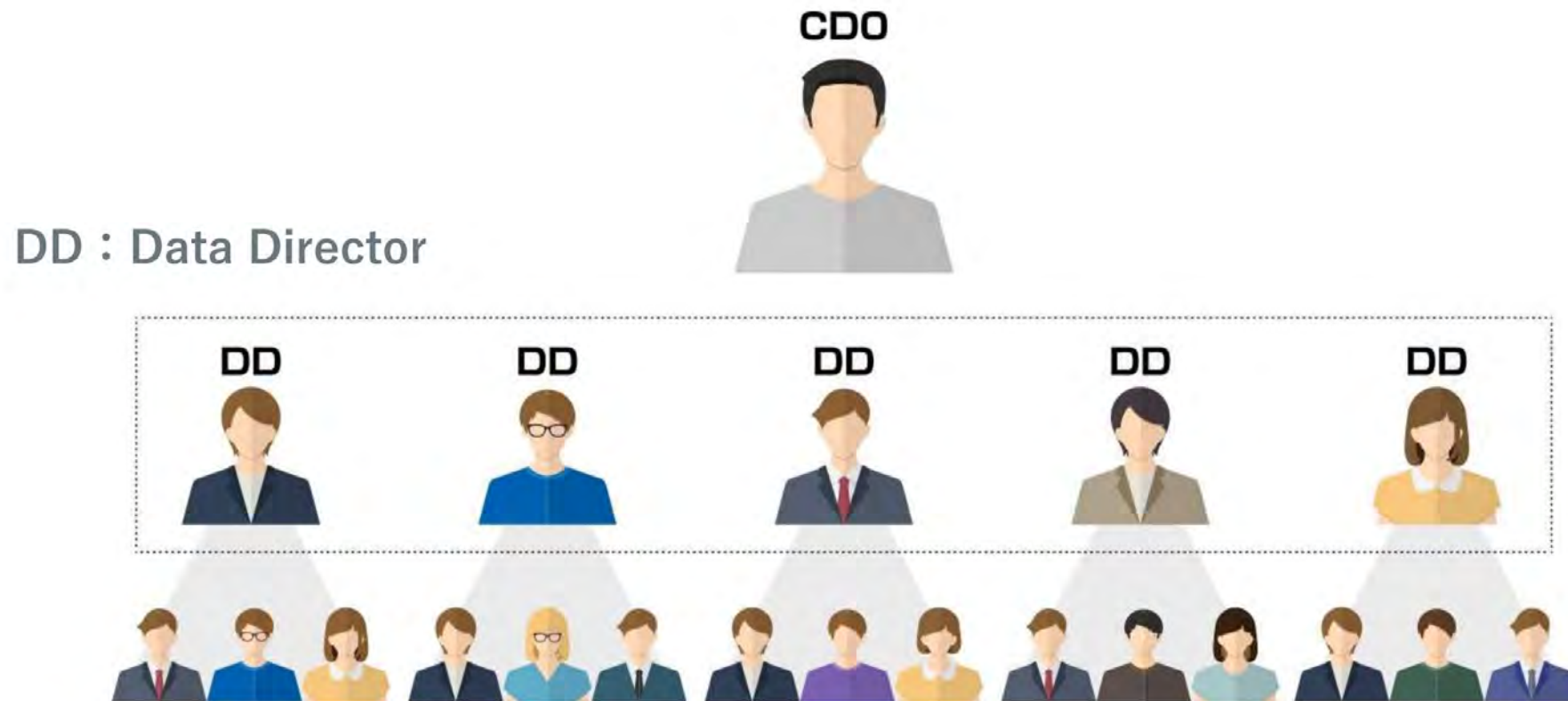
DPOの設置



アドバイザリーボード



法令を遵守しプライバシーに配慮したデータの利活用を推進するために、CDO（最高データ責任者）とサービスごとのDD（データ責任者）を設置。



- データの適切な活用によって、これまで解決できなかった社会課題の解決や、より豊かな生活が実現することについて、社会の期待は高まってきている。
- この期待にいかに適切に応えていくのかが、社会の一員としてヤフーが受け入れられるか否かを決する。
- 他方人々のプライバシーの保護に対する要請は近年特に高まってきており、これへの適切な配慮が不可欠。
- DPOの設置は、これらの流れの中にあるもの。個人情報やプライバシーに関する知見を十分に有し、社内のデータの取り扱いに関する状況等を把握している者が、サービスや機能の設計の段階から、第三者的・中立的な立場で監視・助言することで、より適切なデータ利活用を実現させることを目的とする。また、これらの活動をとおしてプライバシーへの適切な配慮を企業のスタンダードとして定着させていく役割を担う。個人情報保護委員会などの監督官庁の対応窓口などの役割も担う。

- 1) 法令の遵守、プライバシーリスクへの十分な配慮、お客様の不当な不利益の排除
 - ・ 関連法令を確実に遵守することが、まずはスタートライン。
 - ・ 本人のプライバシーにどのような影響を与え得るのか、という観点での検討
 - ※ 通常知られたくない事実、不当な差別的取扱いにつながる情報、思想信条に関わる情報などの取り扱いはないか、人生を左右するような重大な局面におけるデータの利用でないか。
 - ・ お客様に一方向的に情報を提供させていないか、お客様にメリットがあるのか
- 2) コンテキストにあった取得と利用
- 3) 透明性、アカウントビリティの確保
 - ・ お客様が予期しないデータの取得や利用は炎上リスクと独禁法違反リスク
 - ・ データの利用方法等について、分かりやすく説明することが重要。
- 4) 本人への選択権の提供
 - ・ 本人に選択肢を提供することは強力なリスクヘッジになる。ただし、実質的に選択できる状態を担保することが必要
- 5) **ガバナンス体制の構築**
 - ・ **以上が組織的に担保される仕組みの構築が必要**



その仕組みの1つとして、「プライバシーに関するアドバイザリーボード」を設置

委員、アジェンダ、主なご意見と対応をプライバシーセンターで公表

委員（敬称略・五十音順）

- 川口 洋
（株式会社川口設計 代表取締役）
- 穴戸常寿
（座長・東京大学 大学院法学政治学研究科 教授）
- 庄司昌彦
（武蔵大学 社会学部 教授）
- 鈴木正朝
（新潟大学 大学院現代社会文化研究科 / 法学部 教授、理化学研究所 革新知能統合研究センター 情報法制チームリーダー）
- 長田三紀
（情報通信消費者ネットワーク）
- 森 亮二
（英知法律事務所 弁護士）

第1回（2019年8月15日）

1. プライバシーポリシーの改定について

（主なご意見と対応）



グループ企業連携は個社ごとにコントロールできるようにすべき。

ご指摘への対応

個社ごとに連携のオンオフを設定できるようにすることとしました。



プライバシーポリシーの説明について、使われている用語が何を指すのかわからず、また、似た概念が登場してわかりにくい。

ご指摘への対応

記述を見直し、図などを用いてできる限りわかりやすく説明することとしました。



データ利用の目的をもっとわかりやすく記載すべき。

ご指摘への対応

プライバシーポリシーの該当部分からプライバシーセンターを参照しやすくするとともに、プライバシーセンターで丁寧に説明することとしました。

利用者情報の取扱いについて

■ 内容

- ・ お客様の「パーソナルデータ」の取り扱いについて定めたポリシー

■ 背景

- ・ 情報技術（IT）の加速度的な発展とデータの利用可能性の広がり
- ・ 詳細に記述することによる分かりやすさの限界
- ・ 個人情報とそれ以外の情報の境界の不明確性

■ 主な特徴

- ・ 利用規約の一部であること
- ・ 適用範囲が個人情報だけではないこと
- ・ 分かりやすさを意識した簡潔な記述
- ・ プライバシーポリシーとプライバシーセンターがあること
- ・ 第三者提供について一定の範囲で予め同意をいただいていること

▼会員登録画面 (利用規約・プライバシーポリシー・グループ企業とのデータ連携に関する同意画面)

名前 (例: やふたろう)

連絡用メールアドレス

お知らせメール (Yahoo!ダイレクトオファー) を希望

利用規約 (Yahoo!メールガイドライン、Yahoo!ボックスの利用ガイドラインを含む) をお読みいただき、同意される方のみ「登録」ボタンを押してください。
Yahoo! JAPANは、「[プライバシーポリシー](#)」にしたがってお客様の情報を取り扱います。また、お客様のご連絡先に各サービスや特集などのご案内をお送りすることがございます。

なお、[グループ企業とのデータ連携](#)をお読みいただき、希望されない場合は以下のチェックを外してください。

グループ企業とのデータ連携に同意する

登録する

2019年の改定時には以下の対応を実施

方針 1

**プライバシーポリシーを変更したことを、
まずきちんとユーザーに認知してもらう**

実現の
ために

- ・ 100億PV以上を目標にサイト/アプリで告知
- ・ 全アクティブユーザーへ複数回メールを送付

方針 2

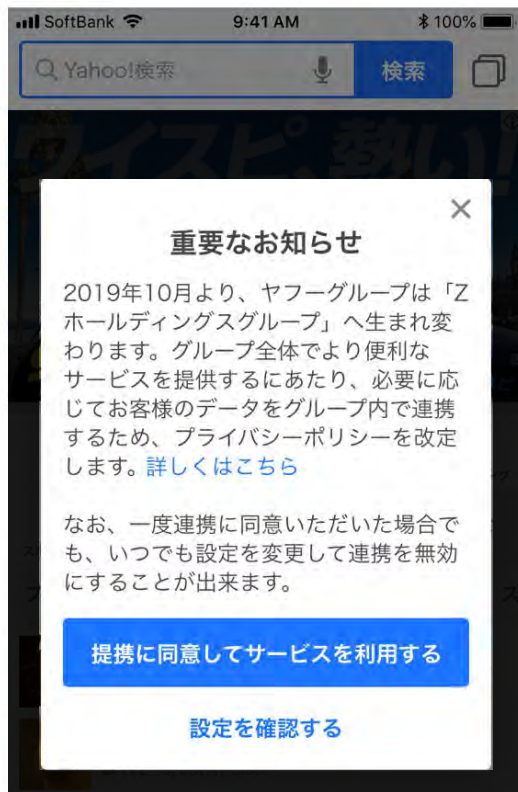
**その上で、グループ間でデータを使わせて
いただくことについて、明確な同意をとる**

実現の
ために

- ・ 主要サービスの各トップで同意画面を掲出
- ・ データ連携設定は「デフォルトオフ」からスタート

- グループデータ連携は、ダイアログにより明示的な同意をいただいたユーザーに提供
- 同意したあとに個社ごとに連携をオン/オフすることも可能です

明示的な同意



コントロール機能



Yahoo!のプライバシーに対する取り組み

私たちYahoo! JAPANは、インターネットを通じてお客様の生活をより便利で豊かにするとともに、さまざまな社会課題を解決していきたいと考え

パーソナライズ

私たちがこれからもこの社会が何を考え、何を必要としてると考えています。

そして私たちは、こうした「データ」といいます。を含むについて、お客様や社会によ

このような考え方のもと、Yaター」としてまとめました。

日々のお客様に最適なコンテンツをはじめとするサービス等を提供する場合（おすすめの商品やサービス等を表示したり、ご案内したりする場合を含みます）に、お客様の居住地域、性別、生年月等の情報や、お客様のサービス等のご利用履歴（検索キーワード、閲覧されたウェブページ、ご利用になったアプリ、購入された商品等）を分析して、Yahoo! JAPAN独自の基準で推定したお客様の興味関心に関する情報を利用させていただきます。たとえば、Yahoo!ニュースでは過去に閲覧したニュース記事等を分析して関心が高いと推定される記事を表示し、Yahoo!ショッピングでは商品の閲覧履歴や購買履歴等を分析しておすすめ商品情報を表示します。



サービス等の改善・新たなサービス等の検討



お客様が、どのような場所から、どのようにサービス等をご利用になったのかという情報をもとにお客様のサービス等に対するニーズを分析して、サービス等の改善や新たなサービス等の検討をするために、お客様の居住地域、性別、生年月等の情報や、お客様のサービス等のご利用履歴（検索キーワード、閲覧されたウェブページ、ご利用になったアプリ、購入された商品等）を利用させていただきます。

広告の表示



日々のお客様のニーズに即した、より適切な広告が表示されるように、お客様の居住地域、性別、生年月等の情報を利用し、また、お客様のサービス等のご利用履歴（検索キーワード、閲覧されたウェブページ、ご利用になったアプリ、購入された商品、位置情報等）や提供を受けた情報を分析してYahoo! JAPAN独自の基準で推定したお客様の興味関心に関する情報を利用させていただきます。

お客様のサービス等のご利用履歴は、適切な環境（端末、アプリ、ブラウザ等）の情報を利用する場合があります。

- 幅広くデータを活用しようと思えば、プライバシーポリシーによるコミュニケーションは基本的に困難。
- コンテキストに沿ったデータの取得と利用が第一。お客様が予期しにくい利用等については事前の丁寧な説明が不可欠。
- 「お客様の便利のために」というのは大きなおせっかいの場合も多い。できるだけ本人に選択肢を提供する。
- プライバシー設定の確認をお願いする電子メールを定期的に変換する取り組みを昨年7月に開始。
- ※ 当社においては、2016年6月に、それまでのプライバシーポリシーにおいてできるだけ詳細にデータの取り扱いについて説明するという方針を改め、プライバシーポリシーにおいてはデータの取り扱いの基本的事項のみを定め、その内容の詳細を図表等を用いて説明する「プライバシーセンター」を新たに開設しました。

プライバシーセンター（およびプライバシーポリシー）において明記

Yahoo! JAPANは、以下のことを行うためパーソナルデータを利用させていただきます。
より詳細は[パーソナルデータの活用](#)をご覧ください。



- 1 お客様に適したサービス等をご提供するため
- 2 お客様からのお問い合わせに対応するため
- 3 商品の配送、代金請求、ポイント付与等をするため
- 4 お客様にサービス等に関するお知らせをするため
- 5 サービス等を安全にご提供するため
- 6 サービス等の改善および新たなサービス等を検討するため
- 7 サービス等のご利用状況等を調査、分析するため

どのようなデータを、どのような場合に取得しているのかを具体的に説明

端末操作を通じてお客様にご入力いただく場合



Yahoo! JAPAN IDをご取得いただく際に、登録情報を入力し、送信していただく場合が代表的な例です。このほか、アンケート調査にご協力いただく場合等、お客様がお使いの端末を操作して情報を入力し、「送信」や「登録」ボタンをクリックまたはタップする等して入力情報がYahoo! JAPANに送信されるような場合に、Yahoo! JAPANは情報を取得させていただきます。

その他の例として、音声検索など音声入力が必要なサービスのご利用を通じて、お客様に音声データを送信していただく場合がございます。送信いただいた音声データは、お客様を識別できないランダムな識別子とともに保存され、180日経過後には識別子から切り離されます。

お客様から直接または書面等の媒体を通じてご提供いただく場合



お客様から本人確認書類をご送付いただく場合が代表的な例です。お客様が、本人確認書類等パーソナルデータが記入された書面等をYahoo! JAPANに送付等し、Yahoo! JAPANが受領することで取得させていただきます。

お客様によるサービス等(*2)の利用・閲覧に伴って自動的に送信される場合



Yahoo! JAPANは、お客様がサービス等を利用・閲覧した際に送信されたパーソナルデータを取得いたします。以下が代表的な例です。

- Yahoo! JAPANのウェブページへのアクセスに伴って送信されたIPアドレスを取得する場合
- Yahoo! JAPANのウェブページの閲覧履歴を取得する場合
- Yahoo! JAPANの検索機能を利用する際に入力された検索キーワードを取得する場合
- Yahoo! JAPANのショッピングサービスでの購買履歴を取得する場合
- 「Yahoo!防災速報」「Yahoo!天気」「Yahoo! MAP」等をインストールされている端末に対して、所在地に応じた災害情報等をお知らせするために、端末の位置情報を取得する場合（お客様がご利用の端末の設定で、Yahoo! JAPANに位置情報を送信するための設定が有効になっている場合に限ります）
- Yahoo! JAPANの広告主や広告配信先等のウェブページやアプリを利用した場合に、当該パートナーのウェブページやアプリにYahoo! JAPANの「ウェブビーコン」等を設置してクッキーや端末情報を参照することで、お客様がご利用の端末を識別するための情報等を取得する場合

*2 「サービス等」とは、サービス、商品、広告、コンテンツを指します。なお、サービス等は、パートナー向けおよびご本人以外のお客様向けのサービス、商品、広告、コンテンツを含みます。

一人ひとりの好みにあわせたニュースをお届けしたり、安心してお買い物を楽しんでいただくために、データを使って日々サービスを改善しています。

認証



ログインの際に、同じお客様からのログインかどうかを確認するため、Yahoo! JAPAN ID、パスワードその他のお客様の登録情報を利用させていただきます。

本人確認



本人確認が必要な一部のサービス等をご利用いただく場合や、お客様からのお問い合わせを受けお客様の本人確認を行う場合に、氏名、生年月日、住所、電話番号、銀行口座番号、クレジットカード番号、運転免許証番号、配達証明付き郵便の到達結果等の情報を利用させていただきます。

パーソナライズ



個々のお客様に最適なコンテンツをはじめとするサービス等を提供する場合（おすすめの商品やサービス等を表示したり、ご案内したりする場合を含みます）に、お客様の居住地域、性別、生年月等の情報や、お客様のサービス等のご利用履歴（検索キーワード、閲覧されたウェブページ、ご利用になったアプリ、購入された商品等）を分析して、Yahoo! JAPAN独自の基準で推定したお客様の興味関心に関する情報を利用させていただきます。たとえば、Yahoo!ニュースでは過去に閲覧したニュース記事等を分析して関心が高いと推定される記事を表示し、Yahoo!ショッピングでは商品の閲覧履歴や購買履歴等を分析しておすすめ商品情報を表示します。

お知らせ等のご連絡や送付



お客様にお知らせや連絡（Yahoo! JAPANやパートナーの提供するサービス等のご案内を含みます）をしたり、商品等を送付したりする場合に、お客様の氏名、住所、メールアドレス等の連絡先情報を利用させていただきます。

サービス等の改善・新たなサービス等の検討



お客様が、どのような場所から、どのようにサービス等をご利用になったのかという情報をもとにお客様のサービス等に対するニーズを分析して、サービス等の改善や新たなサービス等の検討をするために、お客様の居住地域、性別、生年月等の情報や、お客様のサービス等のご利用履歴（検索キーワード、閲覧されたウェブページ、ご利用になったアプリ、購入された商品等）を利用させていただきます。

企業や自治体での統計データの活用



Yahoo! JAPANのデータソリューション事業において、お客様のデータを元に作成した「誰かの情報とは言えない」統計データを、企業や自治体が活用します。

例えば、あるトピックがどのくらい検索されているのか、あるエリアにどのくらい人が集まっているのかなどの分析結果が、お客様の生活を便利するために活用されます。

Yahoo! JAPANが統計データを作成する際には、第三者による解析等を通じてお客さまが特定されることがないように、お客さまのプライバシーの保護に細心の注意を払っています。

行動履歴による広告内容の最適化オン/オフは「**広告設定**」から変更が可能



個々のお客様のニーズに即した、より適切な広告が表示されるように、お客様の居住地域、性別、生年月等の情報を利用し、また、お客様のサービス等のご利用履歴（検索キーワード、閲覧されたウェブページ、ご利用になったアプリ、購入された商品、位置情報等）や提供を受けた情報を分析してYahoo! JAPAN独自の基準で推定したお客様の興味関心に関する情報を利用させていただきます。

お客様のサービス等のご利用履歴は、複数の環境（端末、アプリ、ブラウザー等）の情報を利用する場合があります。

行動ターゲティング広告については以下をご覧ください。

- [🔗 Yahoo! JAPANの配信する行動ターゲティング広告について](#)
- [🔗 広告サービス品質向上について](#)
- [🔗 広告設定](#)

Yahoo! JAPAN トップ、プライバシーセンターなどから容易に設定変更が可能

例) トップページ (Web) からの遷移
登録情報 > プライバシー・メール配信 > 広告設定

YAHOO! JAPAN

ヘルプ

プライバシー・メール配信

トップ 登録情報の編集 ログインとセキュリティ プライバシー・メール配信

行動履歴による広告内容の最適化

お客様の設定にもとづき、行動履歴を利用した広告内容の最適化は「オン」になっています。

行動履歴を利用して広告内容を最適化する

広告設定

表示される広告の内容を、お客様の興味関心に合わせて最適化することができます。

設定する

メール設定

Yahoo!からお客様にお届けするメールの配信設定や、Yahoo!メールの便利機能や広告最適化の設定ができます。

設定する

位置情報の送信設定

各アプリケーションでのデータ利用

YAHOO! JAPAN

プライバシーセンターにおいて 詳細をご説明

行動履歴による広告内容の最適化

お客様の設定にもとづき、行動履歴を利用した広告内容の最適化は「オン」になっています。

行動履歴を利用して広告内容を最適化する

Yahoo! JAPANは、広告掲載によって運営されています。少しでもお客様の興味関心にあった広告を表示できるよう、お客様の行動履歴に合わせて広告内容を最適化しています。最適化される対象は、Yahoo! JAPANの広告配信プラットフォームを通じて表示される広告です。

このような行動履歴による広告内容の最適化を希望されない場合は、オフに設定にすることができます。オフに設定すると、広告内容に行動履歴は利用されず、お客様の興味関心とは無関係な広告が表示されるようになります。

なお、上記は行動履歴の蓄積を制御する機能ではありませんので、上記の設定のオン/オフにかかわらず、行動履歴は継続して蓄積されます。

過去の行動履歴の削除を希望するお客様は、[こちら](#)から削除することが可能です。

パーソナルデータの利用方法

Yahoo! JAPANは、お客様により適切な広告を表示するために、お客様から取得した以下のようなパーソナルデータを利用して広告などを配信しています。

- Yahoo! JAPAN IDの登録情報
(生年月、性別など)
- 広告配信時に取得する情報
(時間帯、おおまかな現在地、広告が表示されるページ、広告表示時に検索していたキーワードなど)
- 広告配信前に取得した過去の履歴(※)
 - ①Yahoo! JAPANサービスの利用履歴
(過去に検索したキーワード、閲覧したウェブページや広告、利用したアプリ、購入した商品、利用時間帯、地域、デバイスなど)
 - ②広告主やパートナーサイトの利用履歴

※法令に基づく場合を除き、履歴を蓄積する期間は以下のとおりです。

- 分析し、独自の基準で興味関心別に分類する目的のために蓄積する各種履歴：最大180日間
- お客様が特定のウェブサイトを訪問された履歴に基づいて広告を配信する目的のために蓄積するページ閲覧履歴：最大2年

また、人種、宗教、性的指向、健康状態など、慎重に扱うべき個人に関するデータは利用しません。

過去の行動履歴の削除（Yahoo!広告 ディスプレイ広告限定）

Yahoo!広告 ディスプレイ広告の広告配信用データベースに蓄積されたお客様の過去の行動履歴情報を削除することができます。削除をご希望のお客様は、下記リンクより行動履歴を削除してください。

[過去の行動履歴についてもっと詳しく](#)

[過去の行動履歴情報を削除する](#)

「Yahoo! JAPAN広告データ利用基準」において、慎重に扱うべき個人に関するデータを利用したターゲティングを禁止

第3章 データ利用について

1. 慎重に扱うべき個人に関するデータを利用したターゲティングの禁止

データを利用するにあたり、データの主体者であるユーザーへの配慮は重要です。ユーザーが不快に感じる可能性が高いため、以下のデータをターゲティングやセグメント作成に利用することを禁止します。

1-1. アイデンティティ、信条

- ・性的指向
- ・トランスジェンダー
- ・宗教、信条
- ・人種、民族、門地
- ・労働組合への加入、労働運動への参加

1-2. 個人の苦難、苦しみ、悩み

- ・経済的貧困、困窮
- ・犯罪歴、犯罪被害
- ・健康状態、検査結果(病気、障がい、治療、関連サービス)

1-3. 知られたいくない私生活

- ・人間関係
- ・性生活、性的嗜好

1-4. 法的、文化的に守るべきとされる事柄

- ・13歳未満の子供
- ・薬機法の制限

1-5. 当社が禁止する事柄

(参考) <https://marketing.yahoo.co.jp/guidelines/>

お客様にご同意いただいた場合に限り、お客様へよりよいサービスを提供するために、下記のデータ連携を行います

連携するデータの範囲

お客様のプライバシーを守るために、お客様のデータは、氏名や住所など直接特定の個人を識別することができる情報を“除外”した上で、Yahoo! JAPANやグループ企業等のサービスの利便性向上等のために必要最小限のデータ（以下、対象データ）のみを連携いたします。

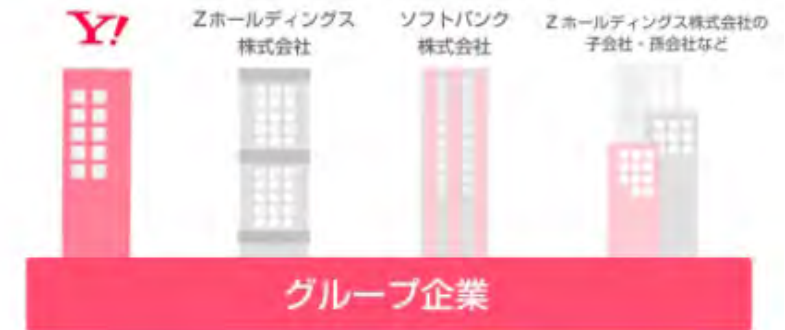
連携するデータの例

- 識別子（Yahoo! JAPANのお客様と、お客様から同意をいただいたデータ連携先企業のお客様が同じお客様であることを判定するための情報）
- 個人属性情報（年代、性別など）
- Yahoo! JAPANのサービス内での行動履歴（閲覧履歴、購買履歴など）

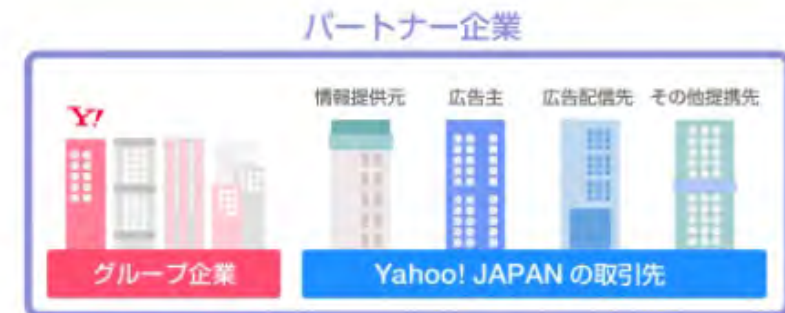
連携しないデータの例 ※別途同意がある場合を除く

- 個人識別情報（氏名、住所、個人識別符号など）
- 連絡先情報（電話番号、メールアドレスなど ※電話番号やメールアドレスを加工して復元できない識別子として連携する場合を除く）
- 金融関連情報（口座番号、カード情報など）
- 要配慮個人情報
- 通信の秘密にあたる情報
- 位置情報（端末から取得可能なGPS位置情報、Wi-Fi情報、Bluetooth情報等）

グループ企業へのデータ連携



パートナー企業へのデータ連携



ユーザーがID連携を行う際に同意ダイアログが表示されます



The image shows a screenshot of a consent dialog box. At the top, there is a greyed-out area. Below it, the text reads "このサービスへの情報提供等（注意事項）". Underneath, there are three bullet points: "・ 姓名・生年・性別 ・", "・ メールアドレス ・", and "・ 住所情報 ・". Below the bullet points, there is a line of text: "お客様の姓名およびフリガナ、生年、性別を提供します。". At the bottom, there are two buttons: "同意しない" (I do not agree) and "同意してはじめる" (I agree and start).

このサービスへの情報提供等（注意事項）

- ・ 姓名・生年・性別 ・
お客様の姓名およびフリガナ、生年、性別を提供します。
- ・ メールアドレス ・
- ・ 住所情報 ・

[同意しない](#) [同意してはじめる](#)

同意内容は、Yahoo! JAPANのプライバシー設定ページで確認することができます

YAHOO!
JAPAN

ようこそ、

さん

ヘルプ

各アプリケーションでのデータ利用

お客様のYahoo! JAPAN IDまたはニックネームに関連付けられた情報やデータは、お客様の同意に基づき、以下のアプリケーションやサービス上で利用することが許可されています。

※アプリケーションやサービスへ提供する情報やデータに変更があると、再度同意が必要になる場合があります。その際に同意をしないと、以前の同意内容が継続されます。同意を無効にするには「無効にする」ボタンを押してください。

Yahoo! JAPAN ID:

外部アプリケーション

一休.com

<http://www.ikyuu.com/>

同意内容

無効にする

同意内容

無効にする

ZOZOTOWN

<https://zozo.jp>

同意内容

無効にする

ヤフーからこのサービスへの以下の情報提供等に同意しています

・ 姓名・生年・性別 ・

お客様の姓名およびフリガナ、生年、性別を提供します。

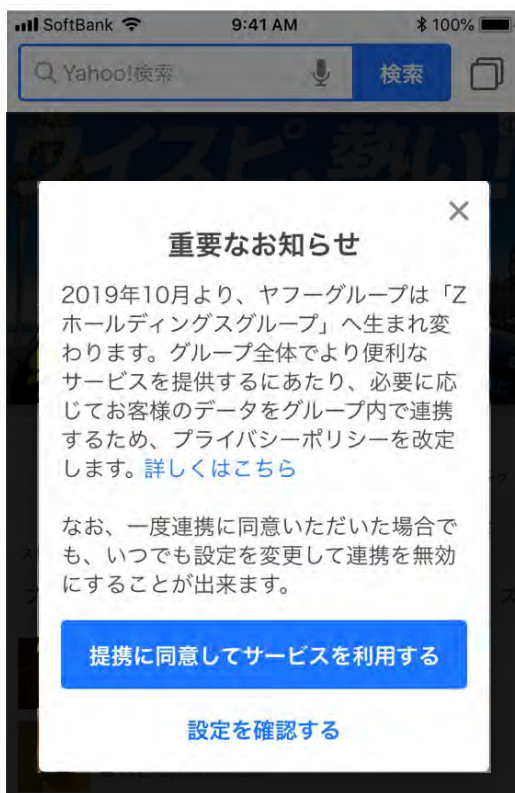
・ メールアドレス ・

・ 住所情報 ・

YAHOO!
JAPAN

- グループデータ連携は、ダイアログにより明示的な同意をいただいたユーザーに提供
- 同意したあとに個社ごとに連携をオン/オフすることも可能です

明示的な同意



コントロール機能



グループデータ連携の導入にあたり、ユーザーのプライバシーを保護するために必要なルールと体制を設けました

プライバシー保護の設計

Yahoo! JAPANとグループ企業におけるデータ連携に関して、お客様のプライバシーを守るために、Yahoo! JAPANが必要なルールと体制を設け、継続的な運用と改善を行っています。

- Yahoo! JAPANのCDO（最高データ責任者）のもとグループ企業各社にデータ責任者を設置し、お客様のデータを守り適切に利用させていただくために組織的な管理を推進しています。
- 連携するデータに関して、氏名や住所など直接特定の個人を識別できる情報は取り扱いません。また、要配慮個人情報や、通信の秘密なども連携を行いません（※3）。
- Yahoo! JAPANが連携したデータをグループ企業から他企業などの第三者へ連携することは禁止しています（※3）。

※3) お客様から個別に同意いただいた場合を除きます。

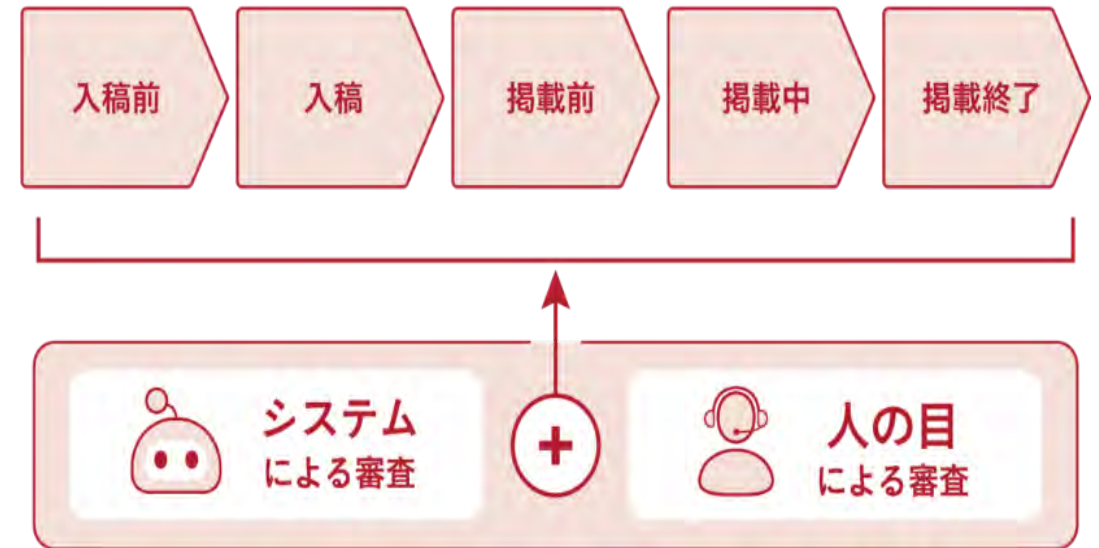
**広告審査・
不適切な広告排除の取組み**

- 弊社の定める広告掲載基準に基づき、「システム」と「人」による広告審査を実施
- 掲載前の審査に加え、サイトコンテンツが変更されるなどの場合に備え掲載後にも実施

Yahoo! JAPAN広告掲載基準

概念・考え方	第1章	第2章	第3章		
広告全体の規定	第4章	第5章	第6章	第7章	第8章
広告クリエイティブの規定	第9章				
広告商品特有の規定	第10章				

審査のタイミング



- 掲載中の広告に対し、ユーザーから意見を申告できる窓口の設置
- 権利侵害など対応すべきものは
 - 広告主様への確認
 - 広告掲載の停止

YAHOO!
JAPAN

掲載ガイドライン違反に関するご申告

お客様情報の入力 入力内容の確認 完了

下記のフォームに必要事項を記入のうえ、「確認する」ボタンをクリックしてください。

※機種依存文字は使用不可です。
※*印の項目は入力必須です。

ご申告いただいた内容については、必要に応じて適切な処置を講じることをお約束いたしますが、個人情報保護の観点から、調査内容やその結果、対処の詳細についてはご案内できません。そのため下記フォームよりご申告いただいた内容につきましては、返信しておりませんのであらかじめご了承ください。

※機種依存文字は使用不可です。
※*印の項目は入力必須です。

お客様情報

お名前*

会社名*

※個人の方は「個人」とご入力ください

<https://marketing.yahoo.co.jp/contact/>

- 広告サービス品質向上のための取り組みについて様々な情報を開示
- ユーザーのプライバシーへの配慮を目的に不適切なデータ利用をしないためのガイドラインを公開

広告サービス品質向上のための取り組み

弊社はインターネットユーザー、広告主、提携パートナーなど、すべての皆様にご満足いただけるサービスを目指し、透明性や品質改善へのさまざまな取り組みを進め、その内容について情報提供を行ってまいります。



[広告サービス品質に関する透明性レポート](#) | [3つの取り組み](#) | [最新情報](#)



広告サービス品質向上のための取り組み
広告品質のダイヤモンドの取り組み

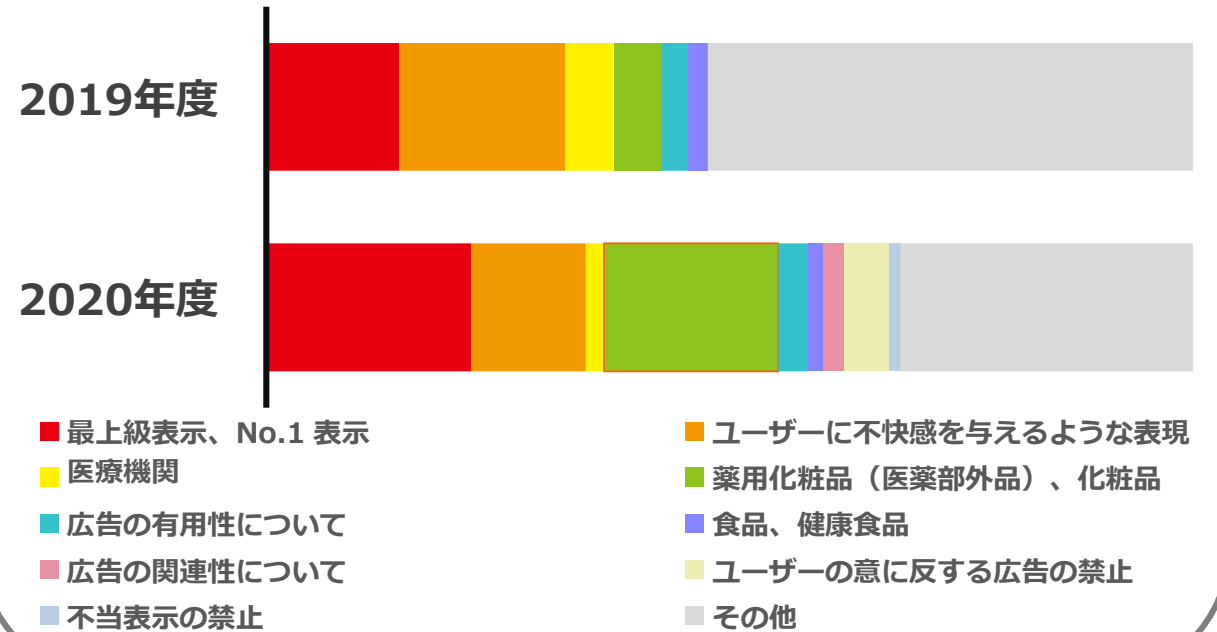
<https://marketing.yahoo.co.jp/strength/quality/>

<https://marketing.yahoo.co.jp/strength/quality/diamond/>

広告審査での非承認数



非承認理由の内訳



透明性レポート <https://marketing.yahoo.co.jp/strength/quality/adqualityreport/>

※：Yahoo! JAPAN 広告掲載基準や広告入稿規定、広告販売ルールに抵触した広告のタイトルや説明文、画像、リンク先のウェブサイト、キーワードなどの各非承認数を合計した件数で、広告単体の件数ではございません。

UPDATE **JAPAN**

情報技術のチカラで、日本をもっと便利に。